

医学部保健学科

【どんな学部か】

看護学、検査技術科学、理学療法学、作業療法学の4つの専攻に分かれています。1年生の間は金曜日だけ、2年生からは毎日、名谷キャンパスで国家資格取得を目指して学びます。それぞれの専門領域における指導者として、国際的に活躍できる人材の育成を目標としています。

【各コースの詳細】

看護学専攻…看護師になるために必要な力をつける

→最も女性の割合が高い専攻です。看護師(保健師・助産師の資格は大学院)を目指す人が多数です。看護だけではなく、地域医療・在宅医療の現状、細かい解剖の知識なども得られます。実習で得られるものは特に大きいです。2年生以降の実習期間は、アルバイトやサークル活動もあまり入れなくなるほど忙しいです。また、3,4ヶ月ほどの長い実習が3年生にあります。人によるかもしれませんが、実習期間以外はそれほど忙しくありませんよ!

検査技術科学専攻…臨床検査技師になるために必要な知識を学ぶ

→臨床検査学・血液学・病理学などの基礎医学を学びます。実習がたくさんあり、テストも多いです。大学院組織の病態解析学領域に属する教員が多く、基礎医学から臨床医学まで、活発な教育・研究が行われています。1~3年生は基本毎日授業があり忙しいと思います。4年生では授業はほとんど無くなりますが、代わりに卒業研究が始まります。基本4年間忙しく、充実していると考えて貰えるといいと思います!

理学療法学専攻…身体機能・精神機能・疫病について理解を深める

→最も男性の割合が高い専攻です。1学年20人程度しかいないので、他学年と仲良くなるのが早く、先輩や教授との距離が近いです。幅広い領域にわたる医学と理学療法関連科学の基礎や最新の理学療法、リハビリテーションの歴史などを学びます。

作業療法学専攻…身体、精神の障害についてメカニズムや症状を学ぶ

→障害のメカニズムを理解するために解剖学・生理学・運動学などを通して身体の構造について学んだり、患者さんの病態を知るための情報収集・面接・観察・検査の仕方を勉強したりします。理学療法学専攻と同様に1学年20人程度なので仲が良かったです。

【4年間の流れ】

1年生	<p>月曜日から木曜日までは鶴甲第一キャンパスで数学や外国語などの一般教養を、金曜日は名谷キャンパスで各専攻の概論や医療職者としての倫理について学びます。他の学部が4年かけて取得する数学など一般教養の単位を、鶴甲第一キャンパスに通う1年生のうちに取得する必要があるため、言語科目を落とすと留年が決まるため必死に勉強します。また、職種間の協働の重要性に気づくことを目的とし、神戸大学医学科や神戸薬科大学薬学部の学生と一緒に初期体験実習を行います。</p>
2年生	<p>本格的に専門の勉強が始まります。2年生前期はどの専攻もテストが多いです。</p> <p><u>看護学専攻</u></p> <p>本格的に看護の基礎的な解剖生理や援助技術を座学や演習を通して学び、病院などでいくつかの実習を行います。</p> <p><u>検査技術科学専攻</u></p> <p>週4時間の解剖学実習や、心電図をとるなど一気に専門性が高くなります。</p> <p><u>理学療法学専攻</u></p> <p>特に解剖の授業に力が入ります。実際に友達の筋を触察したり、人体の解剖学実習をしたりします。</p> <p><u>作業療法学専攻</u></p> <p>リハビリテーションの一環として行う切り絵や将棋などを授業内で行います。6月頃に病院見学実習があります。</p>
3年生	<p>長期実習が始まります。研究室の配属先が決まるのもこの時期です。</p> <p><u>看護学専攻</u></p> <p>前期は様々な分野の看護を具体的に学び、後期では長期にわたり病院や地域に出て分野別の実習をします。</p> <p><u>検査技術科学専攻</u></p> <p>研究室選びが始まります。研究室は自分の好きなところに行くことができます。レポートがほぼ毎日できるようになりますが、その分テストは減ります。</p> <p><u>理学療法学専攻</u></p> <p>実習がより本格的なものになります。OSCEといわれる実技テストがあります。</p>

	<p><u>作業療法学専攻</u></p> <p>専門性の高い科目が多くなり、実際に患者さんの症状などを評価する評価実習が2週間あります。また、他の専攻より一足早く夏頃から卒業研究が開始されます。</p>
4 年生	<p>長期実習があります。国家試験や院試の勉強もします。</p> <p><u>看護学専攻</u></p> <p>応用となる内容の講義を受けたり、まとめの実習に行ったりします。実習前後で病院の試験を受けて就活を終わらせます。大学院に進学する人は、夏に大学院に入るための試験を受けます。その後は、本格的に卒業研究や国家試験対策に取り組めます。</p> <p><u>検査技術科学専攻</u></p> <p>授業がほとんどなくなり、研究室に配属され、卒業研究を行います。研究のかたわら就活を進めるうちに、秋頃から2ヶ月間の病院実習が始まります。そしてこれらが終わると、2月末にある臨床検査技師国家試験にむけて猛勉強します。国試が終わるとすぐ卒業になります。</p> <p><u>理学療法学専攻</u></p> <p>卒業研究があります。卒業後は、半数の学生が大学院に進学し、半数の学生が病院などの医療施設に就職します。</p> <p><u>作業療法学専攻</u></p> <p>2ヶ月間の臨床実習が計2回行われます。実習が終わると、国家試験の勉強が始まります。個人差はありますが、就活を行うのは夏以降です。授業はほとんどなく、実習メインの1年になります。</p>

【学部の雰囲気】（男女比2:8）

六甲と比較するとキャンパスが小さく学生数も少ないので、教授や先輩との距離が近く、高校のクラスのようなアットホームな雰囲気です。ほとんど空きコマはなく、日々真面目に勉強しています。授業は必修科目がほとんどで、常に全員で同じ授業を受けるため、専攻が異なる人とも話す機会があり仲良くなります。また、実習やテストを乗り越えるたびに絆が深まります。大学というよりは良い意味で中学校・高校に近いのかもしれません。縦のつながりが強く、3・4年生だけでなく、院生とも知り合えるのが良いところです。圧倒的に女子が多いですが、男女関係なく仲良くなることが出来ます。

【時間割の例】 ※太字は専門科目

専門科目	外国語科目	教養科目・その他
------	-------	----------

○学部(1年生)

	月	火	水	木	金
1	教養科目	第2外国語	教養科目	健康スポーツ科学実習 基礎	
2	教養科目	微分積分入門	教養科目	第2外国語	
3	AEL(英語)	現代医療と生命倫理			保健学概論
4		力学基礎	AEC(英語)		IPW 概論

○学部(2年生)

	月	火	水	木	金
1	病い論	病理学	ひとと生活	身体のしくみ と働き	薬と生体反応
2	統計学	保健行政学	臨床心理学		身体のしくみ と働き
3	公衆衛生学	生活援助 技術学習			生化学
4	感染免疫学			健康と栄養	看護援助論
5				研究ゼミナール	

【授業紹介】

・IPW 概論(1年・全専攻)

IPW とは「多職種連携」を意味します。実習の導入としてチーム医療について話を聞きます。チーム活動があるため、他専攻の学生とも関わることができます。

・メンタルヘルス論(2年・看護学専攻)

こころの健康について広く学び、精神看護学の基礎を築きます。ストレスやその対処法、現代社会におけるメンタルヘルスへの課題など幅広く学ぶことができます。周囲のメンタルヘルスにも意識を向けたり、看護職者としてどのように患者さんと関わっていくのかを考えたりしながら講義を受けることが大切です。

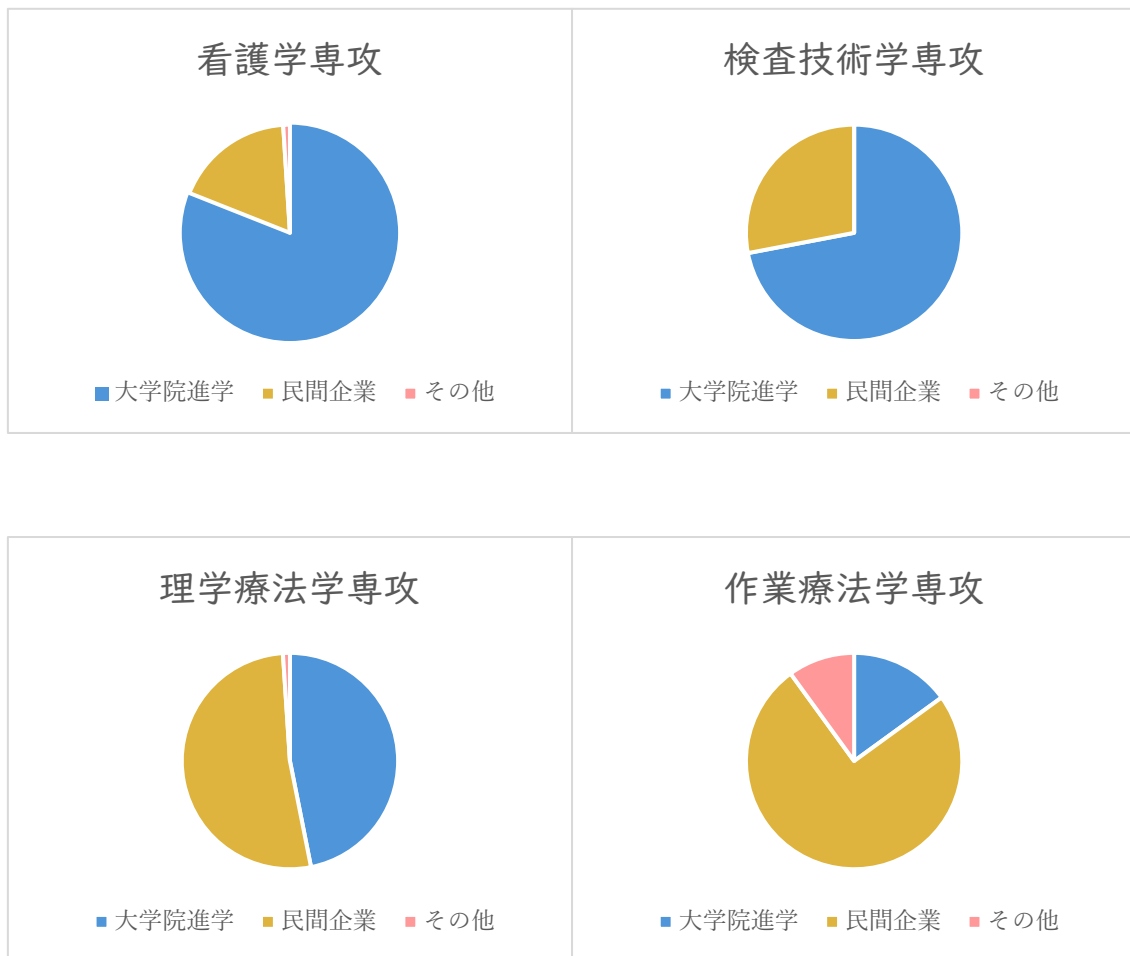
・解剖学実習Ⅱ(2年・理学・作業療法学専攻)

1年生の頃に学んだ解剖学をさらに詳しく学びます。週4時間あり、2時間は筋肉や神経について学び、あとの2時間は解剖学全般について学びます。口頭試問があり、2年生前期のうちで一番大変な講義ですが、臨床に出るうえで非常に重要な実習です。

・臨床血液学実習Ⅰ(3年・検査技術科学専攻)

血球数の算定をしたり、血球や細胞の染色方法を学んだりします。実習を通して貧血・造血器悪性疾患や出血性素因をもった患者のスクリーニング検査法を習得します。実際に学生同士で採血を行います。白衣を着用して実習を行うので気が引き締まります。

【大学卒業後の進路】



【取得可能な資格】

〈看護学専攻〉

看護師国家試験受験資格

〈検査技術科学専攻〉

臨床検査技師国家試験受験資格

〈理学療法学専攻〉

理学療法士国家試験受験資格

〈作業療法学専攻〉

作業療法士国家試験受験資格

※保健師、助産師国家試験受験資格は大学院教育にて取得できます。

【併願校】

私立→関西学院大学(共)、同志社大学(一般)etc.

中期→兵庫県立大学(看護学部)etc.

後期→新見公立大学(看護学科)、信州大学(教育学部特別支援コース、医学部保健学科)etc.

その他→防衛医科大学(看護学科自衛官コース)

*一般=一般選抜、共=共通テスト利用入試

【アピールポイント】

- ・医学科以外では珍しい解剖学の授業がある。(1年生 Nさん)
- ・名谷キャンパスの図書館はリニューアルされて綺麗。(1年生 Aさん)
- ・医療系を目指しているだけあって優しい子が集まっている。(1年生 Yさん)
- ・名谷キャンパスの最寄りの駅付近が栄えている。(2年生 Kさん)
- ・仲の良さはピカイチ。(2年生 Sさん)
- ・アットホームな雰囲気、大学院生や教授とも仲良くなることができる。(2年生 Nさん)
- ・テストや実習など大変な時期があるからこそ団結力が高い。(3年生 Kさん)
- ・着替える必要があるから各自にロッカーがある。(3年生 Hさん)